

「富山県の特産品や観光資源について知り、クラスの皆様に知ってもらおう」

指導教員：教授 矢野 恵子

I. 目的 （調査しようと思った理由など）

- ・富山県の道の駅や特産品とは何かを調べる。
- ・看護学科1年生を対象にして、道の駅と特産品をどの程度知っているかアンケートで把握し、結果をまとめる。
- ・学内発表会を通して、私たちが調べた富山県の道の駅や特産品についての情報を伝える。
- ・道の駅と特産品に興味を持ってもらう。

II. 方法 （調査の方法について）

- ・道の駅のHPを見て各道の駅について調べる。
- ・10月15日に看護学科1年生を対象にアンケート調査を行う。

III. 結果 （調査して分かったことなど）

～道の駅について～

- ・県内の方は、「道の駅メルヘンおやべ」「道の駅雨晴」「道の駅カモンパーク新湊」に行った人が多かった。しかし、「道の駅利賀」と「道の駅細入」の2つの駅には誰も行った事がなかった。
- ・県外の方は15ヶ所の駅の中で「道の駅カモンパーク新湊」「道の駅万葉の里高岡」「道の駅砺波」「道の駅メルヘンおやべ」「道の駅雨晴」の5ヶ所の駅のみに行ったことがある。
- ・県内の方で行ってみたいと回答した人は、県内の方の10%程度だった。
県外の方で行ってみたいと回答した人は、県外の方の50%以上だった。

～特産品について～

- ・県内・県外ともに白エビを知っている人は多く、全体を合わせて70%で1番多かった。他にも全体として2番目にホタルイカは48%、3番目に鱒寿司は40%と知られていった。
- ・県内の方ではお米は8%、チューリップは5%、ジャンボスイカは3%知られていたのに対し、県外の方はお米、チューリップ、ジャンボスイカを知っている人はいなかった。
- ・ブラックラーメンを知っている人は県外6%、県内4%となり、県外の方が多かった。

IV. 考察（調査結果から感じたことなど）

～道の駅～

・図2に示すように、県内出身者は「道の駅細入」と「道の駅利賀」に行ったことないが行く予定のない人は9割以上を占めており、それ以外でも上位3ヶ所以外は行った事がある人も行ってみたいという人も少なかった。そこから、県内出身者は地元で珍しさを感じず、道の駅を見に行ったり、買いに行ったりしないのではないかと思われた。

・県外出身者は全ての道の駅に行ったことがある人が少なかったが、全ての道の駅に対して約5割の人が行ってみたいと回答していた。それは、それぞれの道の駅がどんなものか知らず珍しさから興味を持ったからではないか。

～特産品～

・白えびを知っている人が70%と多かったことや道の駅カモンパーク新湊の印象に残っていることに白えびが多く挙げられたことから、白えびは富山県の特産品の中で最も認識されているようであった。次いで、ホタルイカ、鱒寿司、ぶりの順であったがそれ以外はあまり知られていなかった。

・県内の人より、県外の人の方がブラックラーメンと回答した人が多かったのは、県外の人に印象の強い特産品なのではないだろうか。

V. まとめ（調査結果から考えた課題解決方法など）

道の駅では、富山県ならではの魅力的な特産品を沢山取り扱っています。「こんなものが富山県にあったんだ！」と新しい発見をすることができます！

「行ったことがない」「行く予定はない」と回答していた道の駅にも美味しい食べ物、楽しい場所が沢山あります！

足を運んであなたの世界広げてみませんか？

是非私たちと一緒に行きましょう！